

## 令和5年度（麻生支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教職員としての使命とともに、社会の一員であることを自覚し、公務内外にかかわらず常に、公務員としての自覚を持ち行動する。	4月の新転任者研修等により、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針等を活用し、法令順守についての理解と意識の向上を図った。 不祥事防止会議においてわいせつ事案に関する職員研修を実施し、理解を深めるとともに不祥事防止に向けて意識の向上を図った。
職場のハラスメント （パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いの人権を尊重した言動・行動を行い、働きやすい職場環境を作る。	不祥事防止会議において、不祥事防止点検資料（1月）を活用し、各職員が点検を行った。職場で相談しやすい体制づくり、困難な事案については、複数で連携を図る体制づくりについて共有し、意識の向上を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒に対応する際の適切な相談、指導の在り方について具体的な場面を想定し実践につなげる。	初任者等の校内研修会において映像資料を活用し、具体的な場面において児童・生徒への適切な相談、指導の在り方について職員間で意見を交換し、共通理解を図り、意識の向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	不祥事防止会議において、「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」の好事例を各学部等から紹介する形で、学校全体で共有し、障害の程度や発達段階による支援、指導の充実を図り、職員の意識の向上を図った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、個別教育計画、進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	不祥事防止点検資料（12月）を活用して、各職員が点検を行い事故防止について理解と意識の向上を図った。管理簿により、各文書の管理状況を確認することにより適切な管理を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	不祥事防止点検資料（4月）を活用して、各職員が点検を行い事故防止について理解と意識の向上を図った。管理簿により、各文書の管理状況を定期的に確認し、適切な管理を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	不祥事防止点検資料（11月）を活用して、事故防止について理解と意識の向上を図った。休業期間前には、管理職が全職員に向けて注意喚起を行った。
業務執行体制の確保等 （情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	適切な業務計画により、各職員が学校運営に主体的に参画し、業務のスリム化等働き方改革を推進する。	授業に関する起案などいくつか決裁ルートを短縮して業務のスリム化を図った。 Teamsの掲示板を活用し、電子データで情報を共有するとともに、打合せ等の時間を有効に活用する取組を行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
（学校長意見）

不祥事防止啓発・点検資料の活用、新転任者対象の研修、臨時的任用職員及び会計年度任用職員対象の研修を、年間を通して計画的に行うことができた。また、「児童・生徒への丁寧で適切なかか

わりのスタンダード」を活用した各学部等からの好事例の発表を通して、全ての職員の人権意識の向上と、スタンダードのブラッシュアップを図った。令和6年度は、引き続き「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」を活用し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校にするとともに、取組の好事例を共有する仕組みを構築して、短期間で内容の充実・更新を図る。